

令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 事業検証シート

交付対象事業	農業×商工×観光連携によるたわらもとフード・ラボ事業
事業開始年度	令和4年度(2年目)

事業検証

事業内訳	当初計画事業費(円)	確定事業費(円)	交付金(円)
高収益作物転換奨励金	500,000	200,000	100,000
農地を活用した地域づくり支援事業	300,000	0	0
特産品等開発支援事業	1,500,000	500,000	250,000
たわらもとフード・ラボ事業	3,000,000	1,605,000	802,500
高収益作物転換農業用機械導入支援事業(ハード事業)	1,500,000	348,000	174,000
計	6,800,000	2,653,000	1,326,500

事業名	高収益作物転換奨励金		担当課	地域産業推進課
事業内容	稲作から高収益作物の生産に転換する農業者等を対象に、栽培面積10アール以上であることや3年以上継続して販売等を行うなどの条件の下で一時金を交付。			
事業評価	進捗状況	農業者への説明会において、事業内容等を説明し、制度周知を行った。		
	事業効果	2経営体に補助を行い、高収益作物への転換を促進した。		
R6年度以降の方向性		一定の成果を得たため、事業を終了する。		

事業名	農地を活用した地域づくり支援事業		担当課	地域産業推進課
事業内容	農地を活用した地域の交流事業を実施する団体等を対象に、町民と町外の住民の交流が見込まれる事業であることなどの条件の下で、交流事業に要する費用の1/2(上限100千円)を補助。			
事業評価	進捗状況	農業者への説明会において、事業内容等を説明し、制度周知を行った。		
	事業効果	補助対象となる団体がなかった。		
R6年度以降の方向性		引き続き、補助制度の周知を図る。		

事業名	特産品等開発支援事業		担当課	地域産業推進課
事業内容	町内の加工事業者等を対象に、町内で生産された原材料を使用することなどの条件の下で、特産品等開発に要する費用の1/2(上限500千円)を補助。			
事業評価	進捗状況	町ホームページ等での広報のほか、商工会や金融機関へ情報提供し、制度周知と利用促進に取り組み、1件の商品開発を支援した。		
	事業効果	開発した商品を、地場産品として道の駅などで販売を開始したことに加え、ふるさと納税の返礼品として登録を完了。今後の売上増が期待される。		
R6年度以降の方向性		引き続き、補助制度の周知を図る。		

事業名	たわらもとフード・ラボ事業		担当課	地域産業推進課
事業内容	令和4年度に設立した「たわらもとフード・ラボ」に対し、地域の食材や食文化の勉強会の開催や、ヤマトファームtoテーブル(生産者と消費者のマッチングなどの機能を有する場)検討等に要する費用を補助。			
事業評価	進捗状況	町の主要作物である米と町産米の米粉に着目し、小麦粉との違いや製造方法についての勉強会やフードコーディネーターを招いた料理教室などを実施。		
	事業効果	町産米や米粉の歴史やその調理法について、町民の理解を深め、消費の拡大に寄与することができた。		
R6年度以降の方向性		引き続き、団体の活動を支援し、メニュー開発等に取り組んでいく。		

事業名	高収益作物転換農業用機械導入支援事業(ハード事業)		担当課	地域産業推進課
事業内容	稲作から高収益作物の生産に転換する農業者等を対象に、農業用機械(スマート農業に関する機械を含む)購入費用の1/2(上限300千円)を補助。			
事業評価	進捗状況	農業者への説明会において、事業内容等を説明し、制度周知を行った。		
	事業効果	2経営体に補助を行い、高収益作物への転換を促進した。		
R6年度以降の方向性		引き続き、制度の周知を図る。		

KPI検証

KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度
高収益作物転換支援により収益が増加した農業者数(人)	目標値	-	3	8	13
	実績値	0	3	7	
農地を活用した地域づくり交流事業への参加人数(人)	目標値	-	30	80	140
	実績値	0	0	0	
特産品等開発支援件数(件)	目標値	-	3	6	9
	実績値	0	1	2	
たわらもとフード・ラボを通じた生産者と料理人等のマッチングによる新規商品(メニューを含む)開発件数(件)	目標値	-	3	9	21
	実績値	0	1	5	

KPI	高収益作物転換支援により収益が増加した農業者数(人)	担当課	地域産業推進課
評価	補助制度の申請が少なかったため、未達となった。		
R6年度以降の方向性	引き続き、制度の周知を図る。		

KPI	農地を活用した地域づくり交流事業への参加人数(人)	担当課	地域産業推進課
評価	補助制度の申請がなかったため、未達となった。		
R6年度以降の方向性	引き続き、制度の周知を図る。		

KPI	特産品等開発支援件数(件)	担当課	地域産業推進課
評価	補助制度の申請が少なかったため、未達となった。		
R6年度以降の方向性	より一層の制度の周知に努め、商品開発の促進に取り組む。		

KPI	たわらもとフード・ラボを通じた生産者と料理人等のマッチングによる新規商品(メニューを含む)開発件数(件)	担当課	地域産業推進課
評価	町産米を使った米粉の製造事業者やフードコーディネーターを巻き込み、メニュー開発を推進。目標値には未達であるものの、主菜や和菓子など種類の異なる4つのメニューを開発し、町産米粉のPRや利用促進に努めた。		
R6年度以降の方向性	引き続き、民間事業者を巻き込んだ商品開発に取り組んでいく。		

令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 事業検証シート

交付対象事業	飛び地型自治体連携による若者から90歳代の後期高齢者の全てが生きがいを持って過ごせるための健幸まちづくり事業
事業開始年度	令和2年度(4年目)

事業検証

事業内訳	当初計画事業費(円)	確定事業費(円)	交付金(円)
社会参加型健幸ポイント事業	50,281,000	35,526,695	17,763,347
事業評価	2,637,000	2,637,000	1,318,500
計	52,918,000	38,163,695	19,081,847

事業名	社会参加型健幸ポイント事業		担当課	長寿介護課
事業内容	成果連動型委託契約のもと、事業規模を1.2万人規模に拡大かつ、KPIで掲げる5年目の医療費・介護給付費抑制につなげるための継続支援を強化。中間支援業務として各市町のKPI達成に向けた年度計画の策定支援、資金調達モデルを確立し、6年目以降の自立化の計画を固める。			
事業評価	進捗状況	令和5年度 1,888人の参加(20歳以上の町民)		
	事業効果	新規参加者 平均歩数:4,750歩 → 5,901歩(新規参加者開始3ヵ月後) 運動不十分層のうち推奨歩数達成もしくは1,500歩以上増加した者の割合約36%		
R6年度以降の方向性		イベント(バーチャルウォーキング、ノルディックウォーキング、ウォーキング講習会など)の実施や効果的な広報(広報紙、ホームページ、LINE)を実施することにより、新規参加者募集や歩数増加施策・継続施策につなげる。		

事業名	事業評価		担当課	長寿介護課
事業内容	・レセプト・健診データをもとにした医療費・介護給付費抑制効果の検証 ・アンケート調査設計・分析作業 ・モニタリングデータの分析			
事業評価	進捗状況	事業評価、KPI総合達成度の評価、アンケート調査等を実施。		
	事業効果	歩数等のモニタリングデータやアンケート等を分析し、歩数の変化、体組成、Well-Being指標の改善向上効果など多角的な分析を実施。		
R6年度以降の方向性		令和6年度は5年目の医療費・介護給付費抑制効果分析を実施予定。		

KPI検証

KPI(広域)		事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
医療費・介護給付費の抑制額(百万円)	目標値				700	950	1,180
	実績値				735	968	
健幸ポイント事業の参加者数(人)	目標値	－	5,500	7,810	9,980	12,180	14,270
	実績値	2,750	5,048	7,820	10,103	11,426	
80～90歳代の健幸ポイント事業の参加者数(人)	目標値	－	800	1,200	1,500	1,830	2,130
	実績値	300	633	910	1,279	1,543	
健幸ポイント事業での健幸アンバサダー等のボランティア活躍人数(人)	目標値		600	1,200	1,700	1,900	2,500
	実績値		1,062	1,479	2,031	2,846	

KPI(田原本町)		事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
医療費・介護給付費の抑制額(百万円)	目標値				146	202	248
	実績値				116	289	
健幸ポイント事業の参加者数(人)	目標値	－	500	1,200	1,830	2,150	2,440
	実績値	0	512	1,200	1,830	1,888	
80～90歳代の健幸ポイント事業の参加者数(人)	目標値	－	75	180	275	323	366
	実績値	0	83	159	235	259	
健幸ポイント事業での健幸アンバサダー等のボランティア活躍人数(人)	目標値		100	200	300	400	500
	実績値		178	187	345	315	

KPI	医療費・介護給付費の抑制額(百万円)	担当課	長寿介護課
評価	令和4年度に、令和2年・3年度の2年間の医療費・介護給付費の抑制効果を把握することを目的に、健幸ポイント事業参加者のレセプトデータ・介護データを分析。 分析結果を参考値とし、令和5年度における抑制効果のシミュレーションを実施した。		
R6年度以降の方向性	令和6年度に医療費・介護給付費抑制効果分析を実施予定(前回令和4年度に実施)。		

KPI	健幸ポイント事業の参加者数(人)	担当課	長寿介護課
評価	目標人数2,150人に対し、1,888人と未達成。		
R6年度以降の方向性	ポスター掲示、チラシ配布、広報紙やホームページ、LINEなどのSNS、町主催のイベントや各種教室などで新規参加者募集のアピールを行う。		

KPI	80～90歳代の健幸ポイント事業の参加者数(人)	担当課	長寿介護課
評価	田原本町では、目標値である323人に対し、259人。		
R6年度以降の方向性	地域包括支援センターで実施している「いきいき百歳体操」などで高齢者への周知を行う。80歳以上の方に多く参加していただくために80歳以上特別ポイントを継続して実施。		

KPI	健幸ポイント事業での健幸アンバサダー等のボランティア活躍人数(人)	担当課	長寿介護課
評価	田原本町におけるアンケート回答者632人のうち315人(49.8%)が「参加している」と回答。 「参加している」と回答した参加者は4市町合計で2,846人。		
R6年度以降の方向性	令和6年度においても同様の設問を設定し、人数を確認する。		